

登録コード	T3000111	開講年度	2026			
授業科目	水環境・土木工学ゼミナール				担当教員	河村 隆 他
英文授業名	Seminar in Water Environment and Civil Engineering				副担当	林 卓哉・小松 一弘・高瀬 達夫・梅崎 健夫・清野 竜太郎
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学生
講義室	共通教育5 6 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 5Tカリ，2 3Tカリ					
	【22T～】専門分野における専門的学力が身についている。				⇔	水環境・土木工学の専門教育を受けるために必要な基礎知識や情報機器への対応および水環境・土木技術者として備えていなければならない倫理観などの基礎能力の習得を目的とします。
	【22T～】専門的学力を基礎とし，的確な情報を収集・理解し，これを他の人に発信できる能力が身についている。				⇔	水環境・土木工学全般の問題に対するグループ討論，発表会などを通して水環境・土木技術者として不可欠な「物事の幅広い見方」を養い，総合的な問題解決能力と表現力・対話力を身につけます。
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	教員と学生との人格的な交流を活かしつつ，大学生としての自覚を促し，主体性をもって勉学する姿勢を培います。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	最初に，学習日誌の作り方や大学内で使用する情報機器の使い方，レポート作成上の注意について説明します。次に，水環境・土木工学科で学ぶ内容やものづくりについて概要を説明します。さらに，自分の考えをまとめたり，他人の意見に対して討議したり，することをグループディスカッションやプレゼンテーションによって学習します。 日頃の大学生活で困ったことや不安なこと，将来の進路希望などについて全体または個別に相談も受け付けます。気軽に教員に声をかけて下さい。					
(5)授業計画	1. 水環境・土木コースの内容（林） 2. グローバルガイダンス，ポートフォリオの作成・提出（林） 3. 新入生図書館利用ガイダンス（先鋭融合コースと合同開催） 4. パワーポイントの使い方（林） 5. プレゼンテーション（その1）（清野） 6. プレゼンテーション（その2）（河村） 7. プレゼンテーション（その3）（梅崎） 8. プレゼンテーション（その4）（村松） 9. 学外講師の講演会／オンライン見学会（1）（林・村松） 10. 学外講師の講演会／オンライン見学会（2）（竹内・清野） 11. 学外講師の講演会／オンライン見学会（3）（小松・角田） 12. 学外講師の講演会／オンライン見学会（4）（豊田） 13. 学外講師の講演会／オンライン見学会（5）（小山・近広） 14. 学外講師の講演会／オンライン見学会（6）（梅崎・河村） 15. 学外講師の講演会／オンライン見学会（7）（高瀬・森本） 学期最後の授業の最後の15分を授業アンケートに回答するための時間とする。					
(6)成績評価の方法	プレゼンテーション（30%）およびレポート（70%）を課し，その内容に基づいて単位を認定します。					
(7)成績評価の基準	授業の達成目標とねらいの習熟度に応じて，100～90点を秀，89～80点を優，79～70点を良，69～60点を可とします。					
(8)事前事後学習の内容	学習日誌（ポートフォリオ）において，授業の内容に関する質問等についてメールにて提出し，担当教員とのやり取りを通じて理解を深めます。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	日頃から水環境・土木工学に関心を持って，新聞，雑誌を読んだり，身の回りにある構造物をよく見たり，するようにしてください。また，講義の中で紹介された参考書等は積極的読んで理解を深めて下さい。 授業開始3 0分まで遅刻として認めます。それ以降は欠席とします。					
(10)質問，相談への対応	メールにて受付けます。 以下のアドレスまで気軽にメールして下さい。 村松寛之（1 年生担任）muramatsu@endomoribu.shinshu-u.ac.jp					
(11)その他						
【教科書】	複数の教員で担当するため，特に指定せず，必要に応じてプリントを配布する。					
【参考書】	絵とき土木早わかり（香坂文夫）オーム社（2,415円） 国土を創った土木技術者たち（国土政策機構編）鹿島出版会（2,100円） 技術は人なりープロフェッショナルと技術者倫理ー，土木学会（1,260円）					